

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ
研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	電子カルテデータウェアハウスを利用した注射薬投与間隔チェックシステム構築と有用性評価
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者(個人情報管理者)	愛媛大学医学部附属病院 薬剤部長 田中 守
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2027年3月31日
対象	愛媛大学医学部附属病院の外来にて、投与間隔が2ヵ月を超える注射薬が処方された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 年齢、性別、注射薬の投薬歴
研究の概要	注射薬には、投与間隔が決まっている薬が多くあり、薬剤部では投与間隔が正しく処方されているか毎回確認しています。確認方法としては、電子カルテとは別に薬剤部のシステムを利用し、過去の投与歴が記載されるチェックシートを発行して確認していますが、過去2ヵ月までしか確認できない問題がありました。近年、投与間隔が2ヵ月を超える薬も増え、これらの薬に関してはチェックシートではなく、薬剤師が毎回電子カルテから前回の投与日を確認し、手動で投与間隔を計算して非常に時間を要していました。そこで現在、これらの問題点を解決するため、投与歴に関する情報が含まれる電子カルテデータウェアハウスを利用し、注射薬投与間隔チェックシステムの確立を進めています。 本システムでは、対象の注射薬が処方された患者の過去の投薬歴および投与間隔を自動で抽出し、計算することが可能となります。本研究では、そのシステムの正確性や薬剤師の業務時間削減に対する効果を検証することを目的に調査します。
個人情報の取扱い	収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管

	<p>理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、保管される情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院薬剤部 坂本 裕哉 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5732</p>